

【成長戦略研究】

【富士山科学研究所 自然環境・共生研究科】

富士山高山帯に生息するニホンジカの行動特性の解明 (R6~R8)

研究代表者：中村 圭太

背景・目的

背景：**貴重で脆弱な高山生態系保全のためシカ対策が急務**

- ・富士山高山帯のシカは季節移動型
- ・どのような要因で季節移動を行うのか、行動目的に応じた生息地選択（どの環境で何をしているか）の解明が重要

課題：**高山帯での有効なシカ対策の検討が求められる**

提案：**高山帯のシカの行動特性を解明し、シカ対策に貢献！**

- ・季節移動の要因（積雪、気温、食物の質と量）を定量的に解明
- ・加速度センサーから行動識別を可能にする⇒生息地選択解明⇒**高山生態系の保全とシカ個体数調整への貢献！**



移動要因を定量評価

生息地選択を解明

高山帯に生息するシカの行動特性が解明され、高山生態系の保全と個体数調整へ貢献

研究内容

R6

R7

R8

1. 高山帯での季節移動の要因解明

- 1-1. 季節移動の要因を定量評価
- 1-2. 季節移動のメリットを評価



2. GPS付き首輪と加速度センサーによる行動目的に応じた生息地選択の解析

- 2-1. 加速度センサーの値から行動識別
- 2-2. 行動目的に応じた生息地選択解明

3. 適切なシカ管理手法の提案



共同研究：東京農工大学、NPO法人あーすわーむ

期待される成果

- ・シカの行動予測が可能となる。また、**移動ルートがどのように決まるかの解明**が期待される。
- ・シカの生息地選択（どの環境で何をしているか）が明らかとなる。これにより「採食場の環境保全」や「休息場での捕獲」等の**具体的な管理対策の検討が可能となり、高山生態系の保全と個体数調整への貢献**が期待される。
- ・これら情報により、**科学的根拠に基づいた適切なシカ管理手法を山梨県へ助言**できる。

高山帯に
出没したシカ

